

バス・タクシー共通調査 実施内容(案)

車両ニーズ調査・普及に向けた課題の整理に向け、これまでの調査結果を元に、普及に向けた課題を整理する。地域特性に応じた公共交通車両の事例調査では、特に地方／田舎において採用されている車両カテゴリーや運行形態に着目する。また、海外での事例調査では、車両に係わる基準／規制、インセンティブ等の制度面についての追加調査を実施する。これにより、地域の特性に応じた車両の選択、運用等における課題の整理を行う。

1. 地域特性に応じた公共交通車両の事例調査

地域特性に応じた公共交通車両の普及に向けた課題について、これまでの車両ニーズ等の調査結果を整理しつつ、地域での車両導入の事例等について調査を行う。

(1) 路線バスの再利用の状況

どのような地域で中古バス等のニーズがあるかを調査する。その際、求められている中古バスの種類（ノンステップ／ワンステップ、車両サイズ等）や、その理由についても調べる。→首都圏のバス事業者からの情報収集を予定

(2) 地域の公共交通車両の普及に関する意見収集

地方での公共交通（バス、乗合タクシー）導入に際しての課題について、地方運輸局やバス・タクシー事業者等から意見を収集する。

2. 海外事例調査

車両に係わる基準／規制、インセンティブ等の制度面についての追加調査を実施する。

【バス】

(1) 運用・制度

海外におけるバリアフリーバスの運用や制度に係わる状況を調査する。

- ・欧州や米国における規格及びその内容（例：VÖV（欧州の共通規格））
- ・欧州における路線バスの運用実態（H15年度JAMAによる調査結果の整理／分析）

(2) 車両開発動向

最近の新しい車両開発状況について調査を行う。

- ・代替燃料（ハイブリッドバス、燃料電池バス）
- ・運用方法（非接触給電方式等）

【タクシー】

一般ユニバーサルデザインタクシーに関する制度について調べる（例：車両の更新時にユニバーサルデザイン車両を要求する制度、ユニバーサルデザインタクシーの導入に係る支援制度など）。